

テーマ1 CO2削減対策について

〔提案理由〕

- ・2008年から京都議定書の第一約束期間がスタートし、一層の取り組みが求められているとともに、同年7月には、2050年までに国内の温室効果ガス排出量を、現状から60～80%削減するための施策を具体化した「低炭素社会づくり行動計画」が策定された。
- ・2006年度の県内の二酸化炭素排出実績は、家庭、業務、運輸の3部門とも、「県地球温暖化対策推進計画」の目標に達していない。
- ・昨年度から県域を越えた地球温暖化対策の取り組みとして、「九州・沖縄・山口統一キャンペーン」を行っている。
- ・昨年度から「大分県ノーマイカーデー」を実施し、6月の参加率は45.8%、12月は34.1%であり、24.32トンの二酸化炭素が削減された。
- ・6月1日から開始されたレジ袋の無料配布中止により、レジ袋約1億枚、二酸化炭素6,200トンが削減される見込み。

〔県民の声〕

- ・地球温暖化防止の広報を充実させるとともに、その手法を検討する必要がある。
- ・地球温暖化対策は、多くの県民が何とかしたいと考えている。県民が積極的に参加できる具体的なシステムづくりが必要である。
- ・ノーマイカーデーを知らない人がまだ大勢いるのではないか。
- ・公共交通機関が少ないところに住んでいるのでノーマイカーデーの参加は難しい。
- ・ノーマイカーデーに公共交通機関の本数を増やすことはできないか。

〔議論のポイント〕

(1) 県民意識を高揚させ、実行につなげるための方策について

- ・家庭やオフィスにおいて、目に見える形で二酸化炭素の削減を進めるための方策について。

(2) 運輸部門における二酸化炭素削減の方策について

- ・大分県ノーマイカーデーやエコドライブの推進により二酸化炭素の削減を進めているが、より効果的な二酸化炭素削減の方策について。

(3) 自然エネルギーの導入促進について

- ・太陽光発電等の自然エネルギーの導入を促進する方策について。

〔議事概要〕

(レジ袋無料配布の中止について)

- ・マイバックの使用がCO2の削減にどれくらい役立っているのか、効果が上がっている今の機会を逃さず目に見えてわかる形（現段階の削減量など）でPRすべき。
- ・マイバックを使っている人が必ずしも環境を意識して使っているわけではない。環境に役立っているということ意識させることによって、日常の他のこと（節電など）でも環境を意識するようになるのでは。

(家庭やオフィスでのCO2削減対策)

- ・役所などでは冷暖房の設定温度をしっかりとやっているが、民間施設はそうになっていない。業務部門のCO2対策が進まない理由は、いろんな客がいてクレーム対応まで考えて対応しないといけないから。事業者側で消費者対応を考える必要がある。
- ・本屋での高めの温度設定は立ち読み防止になる。客商売のところはうまく考えていかなければいけない。
- ・若い世代に節約しろと言っても、どこが目標かわからない。目標となるものを提示する必要がある。昔の生活と今の生活を知っている団塊の世代が目標を示す必要がある。
- ・「地球にやさしい」という言い方は、やめてもらいたい。今の環境は人間にとってたまたま都合の良い環境であるだけで、その環境を守るための活動を「地球のために」という言い方をするのは無責任に感じる。
- ・取組のPRは大事だが、そのために印刷物を作ったり会議をしたりすれば、CO2を排出することになる。CO2削減の活動のために新たにCO2が発生しないよう、手法についてもなるべく負担のかからない説明のできるものにしなければならない。
- ・資源は有限であるということを十分認識しなければいけない。

(公共交通機関への転換)

- ・ノーマイカーデーについて、勤めている人が平日に車を使わないのは現実的に難しい面がある。例えば仕事のない日曜日などから始められれば、もう少し軽い気持ちで取り組めるのでは。
- ・某大規模商業施設の初売りセールの際に、無料の送迎バスを出していたが、お客にも店側にもメリットがあり、CO2削減にもつながる。日曜日に同じような手法が使えないか。
- ・春日陸橋、大道陸橋の通行止めはパークアンドライドを推進する絶好のチャンス。目に見える形で取り組んでももらいたい。公共交通を利用できるところはそれを優先し、車の使用はやむを得ないところに限定するなど。
- ・若い人は携帯サイトを利用する。都会ではバスの現在位置も分かる。できれば携帯でもサイトを作り、若い人にも使いやすいようにしてもらいたい。

(新エネルギーについて)

- ・木材は持続可能なエネルギー。九州一の林業地である日田を抱える大分県は、長期的な視点で木質バイオマスを推進する責任がある。企業に任せると会社の論理で動くことになるので、行政主導の安定的なシステムを考えてもらいたい。